

# 市議会だより



星に願いを！色とりどりの七夕飾り（小平ふるさと村の七夕飾り・小川町二丁目児童館での七夕の寝相アート）

令和6年6月定例会は、6月4日から6月28日まで25日間の会期で開催されました。  
この定例会では、令和6年度小平市一般会計補正予算(第1号)など12件の市長提出議案を可決・同意したほか、2件の市長専決処分を承認しました。なお、最終日に提出された4件の市長提出議案は閉会中の継続審査としました。議員提出議案は、パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦と人道支援のためのさらなる外交努力を国に求める意見書など2件を可決しました。請願は、4件を採択しました。  
また、6月5日から3日間にわたり、27人の議員から56件の一般質問がありました。

## 令和6年度 一般会計補正予算(第1号) などを可決

6月定例会

— 予算総額は、853億5千3百5万7千円に —

### 小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。  
我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。  
昭和58年3月3日  
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

### 今後の市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として午前9時  
場 所 市役所7階

8月19日(月) 総務委員会	9月10日(火) 総務委員会	10月15日(火) 決算特別委員会(一般会計)
8月20日(火) 生活文教委員会 請願・陳情締切り(午前中)(※1)	9月11日(水) 生活文教委員会	10月16日(水) 決算特別委員会(一般会計)
8月21日(水) 厚生委員会(※2)	9月12日(木) 厚生委員会	10月17日(木) 決算特別委員会(一般会計)
8月22日(木) 環境建設委員会	9月13日(金) 環境建設委員会 請願・陳情締切り(午前中)(※4)	10月18日(金) 決算特別委員会(特別会計・ 下水道事業会計)
8月23日(金) 幹事長会議(※3)	9月17日(火) 広聴広報特別委員会	10月22日(火) 広聴広報特別委員会
8月29日(木) 議会運営委員会(※3)	9月18日(水) 都市基盤整備調査特別委員会	(※1) 9月定例会初日日程の受付期限です。
9月 3日(火) 9月定例会本会議(初日)	9月19日(木) 公共施設マネジメント調査特別委員会	(※2) 当日は現地視察を予定しています。 委員会の再開時間等については、議 会事務局にお問い合わせください。
9月 4日(水) 9月定例会本会議(一般質問)	9月24日(火) 幹事長会議(※3)	(※3) 開会時刻については、議会事務局に お問い合わせください。
9月 5日(木) 9月定例会本会議(一般質問)	9月25日(水) 議会運営委員会(※3)	(※4) 9月定例会最終日日程の受付期限です。
9月 6日(金) 9月定例会本会議(一般質問)	9月30日(月) 9月定例会本会議(最終日) 広聴広報特別委員会(※3)	

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。



# 議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

<委員会名の略称>

総務=総務委員会 生文=生活文教委員会 厚生=厚生委員会  
環建=環境建設委員会  
広聴広報=広聴広報特別委員会  
都市基盤=都市基盤整備調査特別委員会  
公共施設=公共施設マネジメント調査特別委員会  
議連=議会運営委員会 (◎=委員長、○=副委員長)

## 写真

氏名(年齢は発行日現在)  
当選回数 党派名  
常任委員会・特別委員会等  
住所 } (事)は事務所  
電話番号 }

 <b>あひかわ ひろし</b> <b>虻川 浩 (63)</b> ⑤ 市議会公明党 環建(○)・都市基盤 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	 <b>いしづ はるか (35)</b> ② 政和会 総務・公共施設 御幸町6-3-307 ☎050-3709-3286	 <b>いとう ひさし</b> <b>伊藤 央 (54)</b> ③ 一人会派の会 生文・公共施設(○) 学園西町1-12-22 ☎042-313-2761	 <b>いわもと まこと</b> <b>岩本 誠 (61)</b> ① フォーラム小平 環建・広聴広報・公共施設 (事)仲町210-2-203 ☎(事)070-8569-2869	 <b>おかだ しんぺい (35)</b> ② フォーラム小平 総務・都市基盤 鈴木町1-290 ☎042-343-3939	 <b>かわさと ともみ (45)</b> ② フォーラム小平 生文(○)・議連 (事)花小金井4-33-7カリアハイツ1F ☎(事)050-3596-7611	 <b>さとう えつこ (59)</b> ③ 生活者ネットワーク 環建・広聴広報(○)・都市基盤 (事)学園西町2-15-2 CB一橋学園 ☎(事)042-342-4494
 <b>さとう たかし</b> <b>佐藤 徹 (65)</b> ③ 市議会公明党 総務・議連 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	 <b>しばお ひろみ (60)</b> ① 生活者ネットワーク 厚生・議連 (事)学園西町2-15-2 CB一橋学園 ☎(事)042-342-4494	 <b>ささき だいち (41)</b> ② 日本共産党小平市議団 総務・議連 (事)小川町1-1023-12 ☎(事)042-345-4440	 <b>ささき ゆい (64)</b> ② 政和会 総務(○)・公共施設 (事)仲町165 ☎(事)042-343-3098	 <b>たかはし まさみ (58)</b> ① 市議会公明党 厚生・広聴広報・都市基盤 鈴木町1-245-6 ☎042-409-0503	 <b>つもと ゆうこ (63)</b> ⑥ 市議会公明党 総務・議連(○) 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	 <b>とやま まなみ (49)</b> ② 政和会 生文・公共施設(○) 小川東町2-13-8-405 ☎042-313-6961
 <b>なかえ みわ</b> <b>中江 美和 (44)</b> ③ フォーラム小平 副議長・厚生・都市基盤(○) 学園東町2-13-12 ☎042-315-7475	 <b>なかむら しげかず</b> <b>中倉 茂和 (63)</b> ① 市議会れいわ新選組 生文・公共施設 小川東町5-17-26-410 ☎090-7817-7037	 <b>はしもと けんじ</b> <b>橋本 孝二 (56)</b> ② 市議会公明党 生文・広聴広報(○)・公共施設 上水南町1-5-5 ☎042-326-6526	 <b>ひるま ゆい (67)</b> ② 政和会 厚生(○)・広聴広報・都市基盤 花小金井3-6-14 ☎042-461-3801	 <b>ふかや ゆきひこ</b> <b>深谷 幸信 (45)</b> ① 政和会 環建・広聴広報・都市基盤 鈴木町1-245-6 ☎042-345-4223	 <b>ふくむろ ひであき</b> <b>福室 英俊 (34)</b> ② 政和会 厚生・議連(○) (事)上水新町2-5-26 ☎070-2163-2966	 <b>ほそや たかし</b> <b>細谷 正 (45)</b> ④ 日本共産党小平市議団 環建(○)・都市基盤(○) 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818
 <b>まつおか あつし (39)</b> ③ 政和会 議長 学園西町1-16-10-204 ☎090-6549-0596	 <b>みずぐち かずえ (62)</b> ② まちづくり市民こだいら 生文・都市基盤 (事)学園東町2-4-11ハウス井上101 ☎(事)042-313-5108	 <b>みつはし ともみ</b> <b>三輪 博美 (42)</b> ① 日本共産党小平市議団 厚生・広聴広報・公共施設 (事)花小金井7-1-41 ☎(事)042-347-5580	 <b>やすたけ ゆうへい</b> <b>安竹 洋平 (46)</b> ② 一人会派の会 環建・広聴広報・議連 大沼町1-2-1-207 ☎042-313-6780	 <b>やまだ だいすけ</b> <b>山田 大輔 (51)</b> ② 政和会 生文(○)・都市基盤・議連 学園東町496-54 ☎042-345-8862	 <b>ゆき た まさゆき</b> <b>幸田 昌之 (56)</b> ④ 市議会公明党 厚生(○)・公共施設 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	 <b>よしもと ゆうすけ (41)</b> ③ フォーラム小平 総務(○)・公共施設 小川西町2-18-5 ☎042-315-9337

## 常任委員会

◎=委員長 ○=副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により4つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

### ■総務委員会 (7人)

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

- ◎吉本ゆうすけ ○鈴木 洋一
- 石津はるか 岡田しんぺい
- 佐藤 徹 鈴木だいち
- 津本 裕子

### ■生活文教委員会 (7人)

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

- ◎山田 大輔 ○川里 富美
- 伊藤 央 外山まなみ
- 中倉 茂和 橋本 孝二
- 水口かずえ

### ■厚生委員会 (7人)

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障がい者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

- ◎幸田 昌之 ○比留間洋一
- 柴尾ひろみ 高橋 政美
- 中江 美和 福室 英俊
- 三輪 博美

### ■環境建設委員会 (7人 欠員1人)

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

- ◎細谷 正 ○虻川 浩
- 岩本 誠 さとう悦子
- 深谷 幸信 安竹 洋平

## 特別委員会

◎=委員長 ○=副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

### ■広聴広報特別委員会 (8人)

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関する事②議会報の編集及び発行方法に関する事③議会ホームページの充実に関する事④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関する事

- ◎橋本 孝二 ○さとう悦子
- 岩本 誠 高橋 政美
- 比留間洋一 深谷 幸信
- 三輪 博美 安竹 洋平

### ■都市基盤整備調査特別委員会 (10人)

①駅前再開発の基本的事項の調査に関する事②都市計画道路、鉄道の連続立体交差化の基本的事項の調査に関する事③都市計画公園整備の基本的事項の調査に関する事

- ◎中江 美和 ○細谷 正
- 虻川 浩 岡田しんぺい
- さとう悦子 高橋 政美
- 比留間洋一 深谷 幸信
- 水口かずえ 山田 大輔

## 議会運営委員会

(8人)

◎=委員長 ○=副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

- ◎津本 裕子 ○福室 英俊
- 川里 富美 佐藤 徹
- 柴尾ひろみ 鈴木だいち
- 安竹 洋平 山田 大輔

### ■公共施設マネジメント調査特別委員会 (10人)

公共施設マネジメント推進計画の調査に関する事

- ◎外山まなみ ○伊藤 央
- 石津はるか 岩本 誠
- 鈴木 洋一 中倉 茂和
- 橋本 孝二 三輪 博美
- 幸田 昌之 吉本ゆうすけ

市政を問う

一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



積極的な健康施策の取組を外国人との交流で地域の発展を(市議会公明党) 橋本孝二議員

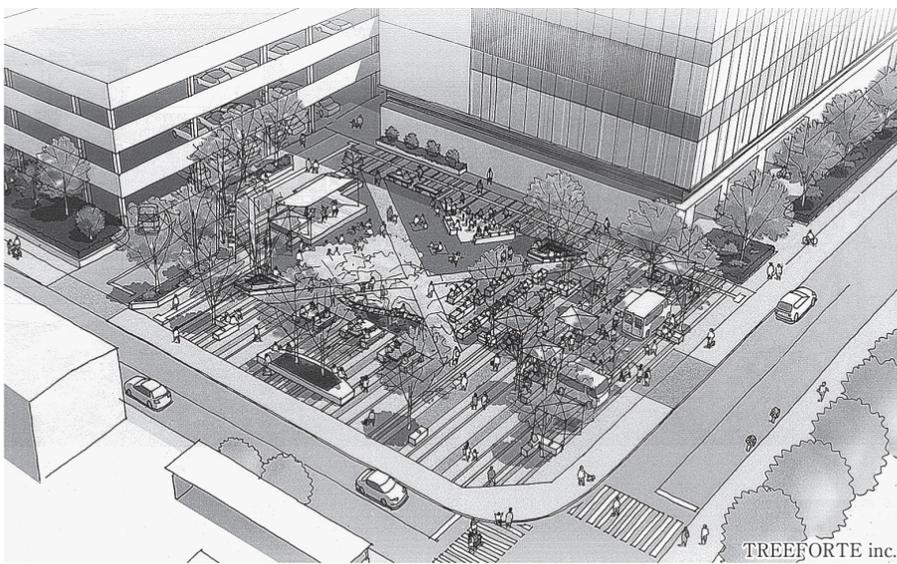


将来の福祉充実のために、より積極的に健康施策に取り組み

外国人との交流を促進し、地域をより発展させよう

質問 ①健康チェックアプリプロジェクトについて、市民意見をどのように施策に反映したか。②こだいら健康ポイント事業に、がん検診を新たな受診ポイントとして追加すべきでは。市長 ①若い世代からはSNSでの発信のほか、紙媒体での案内がほしいとの意見もあった。これまでもSNS等での情報配信やリーフレット送付等してきたが、今後も市民の意見を聞き、施策の充実に取り組んでいく。②受診率向上等に資すると考えられるため今後検討していく。

質問 ①外国人住民への日本語教育を推進すべきだが見解は。②市内事業者と外国人住民との就労関係が良好となるよう、環境整備等をすべきだが見解は。市長 ①現在、国際交流協会や外国人への日本語話教室を行っている。引き続き同協会と連携し、支援の在り方を検討する。②国が外国人雇用サービスセンターを運営しており、事業者からの相談に対応している。市では現在、外国人に限定した取組は行っていないが、今後、他の動向を注視し研究していく。



(仮称) 小川にぎわい広場のイメージ (再開発区域北西側からの視点)



小川駅周辺の課題についてこだいらの魅力を引き出すために(市議会公明党) 高橋政美議員



小川駅周辺の課題について

質問 ①小川駅の駅舎は、エスカレーター設置やトイレ改修の声が多いが、協議の現状は。②再開発ビルの一角に、にぎわい広場が計画されている。にぎわい創出のためには計画的な運用が必要と考えるが、見解は。市長 ①西武鉄道株式会社との協議では、エスカレーターの新規設置と既存トイレ改修の要望を行っている。引き続き、実現に向けた協議を継続していく。②新公共施設は、広場も合わせて指定管理者による一体的な管理運営を検討している。広場の

この辺りの魅力を引き出すために

質問 ①住民以外の人に小平の魅力をSNSで発信してもらう事業について、見解は。②学生等の力を借りて、小平と云えば、というものを創るべきと考えるが、見解は。市長 ①こだいら観光まちづくり大使等が一部実施している。今後、情報収集し研究していく。②学生の企画等を受け入れ、実施する体制づくりを進めており、学生の力を生かした小平市のPR方法を検討していく。

の計画的な活用も、指定管理者の提案を基に協議を進めていく。



大規模災害の備えで安全安心を身寄りのない高齢者の安心を(市議会公明党) 佐藤 徹議員



大規模災害への備えで、より安全で安心な街、小平を目指して

質問 ①震災対策用井戸として登録されていない井戸が、市内に100基以上あるとされる。NPO法人との連携強化等、踏み込んだ対応を実施すべきだが見解は。②4月に玉川上水緑道の樹木の枝が落下し、道路を塞ぐ事案が発生した。総点検や剪定等の対策を講ずるべきだが見解は。市長 ①市報等で周知啓発に努めており、登録件数は年々、増加している。井戸に関するNPO法人とは意見交換している。②樹木の適正管理が課題と認識しており、安全を優先して剪

身寄りのない高齢者が安心して住み続けられる小平を目指して

質問 愛知県豊田市の、ひとり暮らし高齢者等登録制度を導入すべきと考えるが市の見解は。市長 地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが、社会福祉協議会、介護事業所、ケアマネジャー等と協力して高齢者を支える地域づくりに取り組んでいる。現在、制度を導入する予定はないが、関係機関と情報共有していく。

定などを進めてきた。都は、史跡玉川上水整備活用計画の改定に向けた取組を行っており、今後も都と連携し管理に努める。



高齢者が暮らしやすい小平を支援が必要なくともたちのため(市議会公明党) 幸田昌之議員



高齢者の皆さんが元気で暮らしやすい小平を

質問 ①eスポーツを活用したフレイル予防事業を実施すべきと考えるが見解は。②介護事業の周知及び相談支援が重要だと考えるが見解は。市長 ①eスポーツを通じ他者と交流することで社会参加の促進が図られるなどの効果が期待できる。効果や課題を整理する。②地域包括支援センターが高齢者の相談窓口であることなどを知らせてもらえるようリーフレットを全戸配布している。地域包括支援センターが高齢者の生活や家族介護者を支援している。

特別な支援が必要なこどもたちのために

質問 ①保育園における障害児加算に係る課題は。②特別な支援が必要なこどものために活動している親の会や団体との連携が重要だが見解は。市長 ①加算の要件は身体障害者手帳や愛の手帳、医師の診断書等が交付されていることである。支援が必要な児童には要件を満たさない児童もおり、対象とならないことが課題である。②特別な支援が必要なこどもたちや家族に寄り添った支援には、親の会などとのつながりは重要であり、引き続き連携する。



教育長は政治的中立であるべき中学生にふさわしい教科書を(一人会派の会) 伊藤 央議員



教育長及び教育委員会の政治的中立性について

質問 ①1月に、笑顔咲く小平の広報紙に市長と教育長の対談記事が掲載された。教育長は、掲載先が市長の関連する政治団体の広報紙との認識があったか。②地方教育行政法で禁止される教育長の積極的な政治運動に当たると考えるが市長の見解は。③過去に小平市で政治団体の広報紙等に教育長のコメントや写真が掲載された事例があるか。教育長 ①認識していなかった。市長 ②当たるものではない。教育長 ③把握しているものはない。

小平市の中学生にふさわしい教科書を適正な環境で

質問 ①教科書採択に当たり市長から採択方針が示されたか。②採択結果については、市長も説明責任を負うか。③2回の会議で全ての見本本の精査が可能なのか。④小平市ゆかりの津田梅子について掲載されている教科書を選ぶ方針はあるか。教育長 ①示されなかった。②説明責任は教育委員会にあると認識している。③可能であると捉えている。④その方針はないが、採択における一つの要素にはなり得る。



いじめ情報の引き継ぎや調査報告書の在り方等を、一から見直せ(一人会派の会) 安洋平議員



いじめ情報引き継ぎが再発、教育長答弁と真逆だが

質問 小学校でのいじめに関し、令和5年12月に青木教育長は、同種事案が繰り返されることなく、被害及び関係児童が円滑な学校生活を送れるよう中学校へ引き継いでいる旨答弁した。しかし引継ぎの事実はない。いじめは再発した。具体的には何を引継いだとしたか。答弁と逆の事態に責任を感じているか。教育長 関係児童の氏名、当該事案の概要など、個別の事案に応じて必要な引継ぎを行っているため、答弁と逆の事態になっているとは捉えていない。

いじめ重大事態調査に時間がかかれば新たな問題が生じる

質問 迅速に調査を進め、第三者性が担保された報告書にまとめるためには、資料作成など実際に手を動かしてもらった委員の枠をつくり、時間報酬的な新たな報酬体系を整備する必要がありと考えるが見解は。教育長 報告書をまとめる際の第三者性に問題がないと認識しているため、現時点での設定は考えていないが、他自治体の事例の情報収集に努めていく。【掲載分以外の質問項目】



手話の正しい理解促進を / こともの居場所づくり支援を



東京臨海臨海センターの開催に向けて手話の正しい理解促進を

包括的なこともの居場所づくり支援を

質問 ①東京都手話言語条例に基づいた市の対応は。

質問 ①校内別室指導教員配置事業(チャレンジクラス)では何を行うのか。

質問 ②デフリンピック学習ハンドブックをどう活用するのか。

質問 ②奈良市が独自に行っているフリースクールHOPのような公設フリースクールを開設できないか。

市長 ①手話通訳者の派遣をはじめとしたコミュニケーション事業などを行っている。また、都の新規補助事業を活用した手話に関する理解促進のためのイベントを開催する予定である。

教育長 ①市立中学校1校に不登校生徒を対象とした学級を設け、指導方法の工夫等し、生徒の実態に応じた支援を行う。

教育長 ②都から各小学校に配付する予定と聞いている。各教科等の時間で、デフリンピックや選手への理解が深まるよう、各校が活用すると捉えている。

②生徒に適した多様な学びの場は重要だが、現在の居場所づくりの施策により充実を図るとしており、開設の予定はない。



官民共創まちづくり/選挙管理委員会のあり方/保育の質向上



官民共創 による 持続可能なまちづくりを

これからの選挙管理委員会のあり方について

質問 ①5年度、民間企業や大学等からの提案を受けた数と、うち6年度に事業化された数は。

質問 ①委員会議事録をホームページで公開すべきだが見解は。

質問 ②民間企業等からの提案の窓口であり、行政課題解決のためのマッチング等ができる公民共創デスク設置への見解は。

質問 ②特に若年層に関心を持ってもらえるよう投票率向上に向けた取組をすべきだが見解は。

市長 ①いきいき協働事業提案制度で5年度は3件の提案があり、6年度に2件実施している。

選挙管理委員会事務局長 ①公開した場合の課題の整理等を行い、公開の仕方を含め検討する。

②大学や団体等との協働の取組やPFI事業等を実施している。現時点でデスク設置は考えていないが、地域課題に応じた公民連携を検討していく。

②啓発活動の中でも重要な課題である。模擬投票授業の周知と充実等を図るとともに、どのような取組が効果的か研究する。

【掲載分以外の質問項目】

○市内保育園における保育の質向上の実現のために



食物資源循環事業参加7つの壁 / 不登校児童・生徒の健康診断



食物資源循環事業に参加するまでの7つの壁について

不登校児童・生徒の健康診断を考える

質問 ①制度が広く知られていない壁について、事業の愛称募集や、工場見学会の開催などで広報の充実を図れないか。

質問 ①不登校児童・生徒に対する定期健康診断の案内、実施方法はどのようにしているか。

質問 ②バケツ購入の壁について、バケツ購入半額補助制度の範囲拡充はできないか。

質問 ②健康診断未受診を見逃さないために、市が実施している工夫、取組は。

市長 ①愛称募集は考えていないが、今後分かりやすい名称等を研究する。工場見学会の開催は難しいが、今後も環境イベント等で広報の充実を図っていく。

教育長 ①全ての市立小・中学校で文書による案内等を行っている。学校の健診日に他の児童・生徒と時間をずらす配慮や、欠席者健診を実施している。

②電気式の食物資源処理機等が対象である。一般的なバケツの購入への補助は考えていない。

②各校では未受診者に対して、個別に文書などで受診を勧めている。その際、児童・生徒に寄り添った対応を心がけている。



今こそ本気のひとづくりを / ことでも通園制度について



今こそ本気のひとづくりを

ことでも通園制度の実施について

質問 ①市長の考えるひとづくりは、どのような手法でどのような成果を得ることができると。

質問 ①実施に向けたスケジュールは。

②島根県益田市のひとづくり協働構想のように分かりやすい言葉で方向性を示すべきでは。

②実施時に想定される保育士不足への対応状況は。

市長 ①第四次長期総合計画基本構想の基本目標に掲げ、地域社会を担い、多様に活躍できるひとづくりを目指すとしている。

市長 ①ことでも未来戦略で令和8年度から全自治体で実施する方針が示されている。国の動向を注視等しており今後検討する。

②現在、国や都の補助制度を活用し、各保育所が行う保育士の確保に向けた取組の支援を行っているが、制度の実施に向け、国や都の動向を注視していく。

②能登半島地震における活用を勘案すると、有用性は認識しており、導入するための財源等の課題について、整理している。



子育て支援のさらなる充実を / サイクルバスを導入しよう



多様化する子育て支援のさらなる充実について問う

都営バス梅70系統でサイクルバスを導入しよう

質問 ①市長が描く子育てしやすいまちのビジョンは。

質問 都営バス梅70系統でサイクルバスを実施すべきでは。

②市立小学校の早朝の校庭開放を実施すべきだが見解は。

市長 青梅市の区域で土曜日と休日のみ運行している都営バス梅01系統において、バス前面に自転車2台搭載可能なサイクルラックを装着したバスを実証運行していると、都から聞いている。都内の路線バスでは初めての実証段階であることから、現時点では、関係市町長会担当部長会などで情報共有しながら、今後の動向を注視していく。

市長 ①少子高齢化等がますます進む社会で、子育て家庭が孤立、孤独に陥らず、ことでも保護者が共に伸び伸びと育ち、育てられるまちである。

③児童福祉法における市町村の保育実施責任の観点から、隠れ待機児童ゼロに向けた早急な対策を講じることが求められているが、認可保育園の増設等、今後の市の取組方針は。

教育長 ②多摩地域で実施している市があることは把握している。共働き世帯への支援等として一定の効果はあると認識しているが、人材や財源の確保が課題になるとともに、学校等との

②令和6年度の申込みでは、きょうだいで認可保育園に通っている81世帯1千6百65人のうち、別々の認可保育園に通っているのは188世帯390人である。

調整が必要となるため、引き続き実施の可能性を研究していく。

③国の定める基準に基づき、今後も引き続き、必要な保育者を確保しつつ、多様な保護者のニーズに応えられるよう努めていく。



再び能登半島地震に学び事前防災を / 居住支援協議会の設置を



再び能登半島地震に学び、市民の命を守る事前防災を盤石に

居住支援協議会の設置で小平モデルの創出を

質問 ①電源としてのEV配置について、導入及び配置計画をつくり、市役所本庁舎などに展開していくべきだが見解は。

質問 ①国の法整備の流れを受け、居住支援協議会を核とした体制を整備すべきだが見解は。

②トイレカーやトイレトレーラー等の導入による支援体制の整備を進めるべきだが見解は。

②空き家等管理活用支援法人の指定の検討について、どのように取り組み、居住支援協議会とどのように連携するか。

市長 ①電気自動車は災害時の電源として有用である。今後、庁用車の買換えの際には、電気自動車の購入を進めていく。

市長 ①法改正など国の動向を踏まえ、居住支援協議会の早期設置に向けた検討を進めていく。

②能登半島地震における活用を勘案すると、有用性は認識しており、導入するための財源等の課題について、整理している。

②第二次空き家等対策計画に基づき今後検討していくが、現在、対象業務の範囲について研究しており、居住支援協議会との連携についても研究していく。



200人以上いる隠れ待機児童について



200人以上いる隠れ待機児童ゼロに向けた早急な対策と改善を

質問 ①認可保育園に入園申込みをしたが入園に至っていない、いわゆる隠れ待機児童の2024年度の人数は。

②きょうだいで同じ園への入園を希望していたがかなわず、別々の保育園に入園せざるを得なかった例は、2024年度は何件か。

③国の定める基準に基づき、今後も引き続き、必要な保育者を確保しつつ、多様な保護者のニーズに応えられるよう努めていく。

市長 ①隠れ待機児童の定義は

ない。認可保育園等への入園申込みをしたが、令和6年4月1日現在で、保育施設等の入園に至っていない児童の人数は239人である。なお、これは国が定める待機児童数調査要領において、待機児童数に含まないこととされている人数である。

②令和6年度の申込みでは、きょうだいで認可保育園に通っている81世帯1千6百65人のうち、別々の認可保育園に通っているのは188世帯390人である。

③国の定める基準に基づき、今後も引き続き、必要な保育者を確保しつつ、多様な保護者のニーズに応えられるよう努めていく。

市長 ①隠れ待機児童の定義は

ない。認可保育園等への入園申込みをしたが、令和6年4月1日現在で、保育施設等の入園に至っていない児童の人数は239人である。なお、これは国が定める待機児童数調査要領において、待機児童数に含まないこととされている人数である。

市長 ①隠れ待機児童の定義は

ない。認可保育園等への入園申込みをしたが、令和6年4月1日現在で、保育施設等の入園に至っていない児童の人数は239人である。なお、これは国が定める待機児童数調査要領において、待機児童数に含まないこととされている人数である。



バケツで出された生ごみを回収し、堆肥としてリサイクルする食物資源循環事業



カスターハラスメントの予防を  
特殊詐欺撲滅で安全安心を  
鈴木洋一議員  
(政和会)

カスターハラスメントを  
予防し良好な職場を目指して



特殊詐欺を撲滅して  
安全安心な市民生活を

質問 ①市が想定するカスターハラスメントの定義は。

②市職員がカスターハラスメントに遭遇した場合、どのような支援体制が整っているか。

市長 ①現在、市では定義していない。国では、要求を実現するための手段等が社会通念上相当であり、労働者の就業環境が害されるものとしている。

②不当要求対応マニュアルでは必ず組織対応することや、警察等との連携に努めるなどしている。定期的に責任者講習を開催し体制の充実に努めている。



再犯防止推進計画の策定等を  
コミュニティバスの利便性向上  
山田大輔議員  
(政和会)

罪を犯した人等の改善更生のため  
再犯防止推進計画の策定等を



小平市コミュニティバスの  
さらなる利便性の向上を

質問 ①再犯の防止等の推進に関する法律には、再犯の防止等に関する施策の推進に関する計画を定めるよう努めなければならないとあるが、策定状況は。

②計画策定と同時に、更生保護の拠点として、更生保護サポートセンターを設置すべきでは。

市長 ①国が策定した第二次再犯防止推進計画に基づき、計画の策定を検討している。

②常駐する保護司の確保などの課題があるが、保護司会から要望があった際には、市として協力できる内容を検討していく。



G<sup>2</sup>Xについて  
保護と活用について  
深谷幸信議員  
(政和会)

小平市におけるGXについて問う



戦略的な文化財保護と活用による  
魅力あるまちづくりの推進を

質問 ①小平市におけるGXの定義と推進についての見解は。

②ゼロカーボンの達成に向けては、産学官連携での研究等が有効と考えるが市の見解は。

市長 ①市において定義を定めたいものはない。推進についても市の考えを示したものはない。

②令和5年度、東京ガス株式会社と包括連携協定を締結し、ゼロカーボンの達成に向けた取り組みについて、定期的に協議を行っている。産学官連携による取り組みについては、国や東京都の事例などの情報収集に努めていく。



たいまつまわりの様子。お盆の迎え火と送り火でまわりのたいまつに火をつけて回していた。(昭和53年 小川寺にて)



集会所の活用と課題解決を  
FC東京街灯パナーフラッグ  
吉本ゆうすけ議員  
(フォーラム小平)

身近な施設である集会所の活用と  
課題の解決を検討すべき



FC東京街灯パナーフラッグの  
活用について

質問 ①市内にある自治会の集会所の数及び自治会以外の地域住民の活用状況の把握は。

②地域住民に、より活用してもらえようサポートしては。

市長 ①市内の認可地縁団体14団体中、4団体が集会所を所有している。認可地縁団体ではない自治会でも集会所を所有している場合はあると捉えているが、数は把握していない。自治会以外の地域住民が活用している状況は把握していない。

②管理運営は原則自治会が行う。相談があれば今後研究する。



自分らしく生きるための  
終活支援について  
さとう悦子議員  
(生活者ネットワーク)

自分らしく生きるための  
終活支援について



かけとなり、充実した人生を過ごせるようになると捉えている。

質問 ①独居高齢者が増えている。終活支援の重要性の見解は。

②市の終活支援の取組は。

③終活を支えるためには医療と介護の連携も重要である。連携の取組状況は。

④身寄りがない人が亡くなった場合の市の対応は。

⑤都の市に対する終活支援のための窓口設置補助の活用は。

⑥現役世代にも終活の周知が必要だが、認識は。

市長 ①高齢者が人生の振り返りなどをしやすくなり、自分らしくどう生きるかを考えるきっかけとなり、充実した人生を過ごせるようになると捉えている。



全てのこどもが輝ける  
薬用植物を生かして産業振興を  
外山まなみ議員  
(政和会)

全てのこどもが輝ける  
小平市であるために



②検査実施まで約2か月程度。可能な限り検査回数を増やす。

質問 ①チャレンジクラス、いわゆる校内別室学級への転校が4人にとどまっている要因は。

②教育相談室の発達検査の予約待ち状況と解消への取組は。

③小学4年生以上の学習補助員の配置を増やすべきでは。

④不登校児童・生徒及び保護者に、給食センターでの無料給食の招待状を送ってはどうか。

教育長 ①学級の安定的経営と生徒の負担軽減の必要から、まずは上水中学校で開始した。5月から他の市立中学校の不登校生徒の入級相談も開始している。



公共施設マネジメントの取組等  
がんになっても安心な生活を  
水口かずえ議員  
(まちづくり市民こだいら)

公共施設マネジメントの取組と  
施設の管理運営、市民への影響



②市内農家等の意見を聞きながら他市の動向を注視していく。

質問 ①人口予測の変化に伴い、公共施設の総延べ床面積の縮減目標を変更すべきでは。

②中央エリアの新建物と、そこに複合化される既存施設との駐車台数の比較は。

③市民が行うイベント等のチラシを掲示できる市民掲示板を中央エリアに設置してはどうか。

市長 ①令和8年度に改定予定の公共施設マネジメント推進計画で、縮減目標も見直していく。

②変更の可能性はあるが、新報が市に提供された場合は、ホームページで情報提供していく。



安心して暮らすための居住支援を／  
包括的性教育をすすめるよう



安心して暮らし続けるための  
居住支援

質問 ①新たに設置された居住  
支援担当の具体的な業務は。

市長 ①こだいら生活相談支援  
センターにおいて居住支援法人

②こだいら生活相談支援セン  
ターと連携しており、市では、  
情報等の共有で新たな居住支援  
法人とのつなぎに努めている。

同センターでは相談を受けた際、  
住まい継続の支援等をしている。  
課題は、住まいの確保である。



公共施設の利用者負担を問う  
公民館等が指定管理者制度に



公共施設の利用者負担を問う  
公民館等が指定管理者制度に

質問 ①集会施設などの利用者  
負担の見直しを凍結するに至っ

市長 ①公平性の観点から利用  
者負担の見直しの検討を進めて

②今後に向けては、コロナ禍  
の影響により集会施設等の利用  
が低迷し、その後も十分な回復  
を見ていない現状も踏まえ、市

小平市の公共施設の利用者負担の  
見直しに関する考え方を問う



日本郵便株式会社との連携強化  
みどりの維持と安全性の両立



日本郵便株式会社と小平市の  
包括的連携強化について

質問 ①郵便局での図書館の本  
の返却について小平市の展望は。

市長 ①利便性の大幅な向上  
は見込めず、配送のコストや、  
返却の情報をシステムにすぐに

②FC東京ポストの設置を通  
じたFC東京との連携は。

安全性の両立に向けて



青木教育長の一年を総括する  
外来種雑草等の繁殖状況



青木教育長の一年を総括する  
外来種雑草等の繁殖状況

質問 ①コミュニケーション・スクー  
ルは教育長就任後何校増えたか。

市長 ①令和5年度は4校、  
6年度は3校が新たにコミュニ  
ティ・スクールに移行している。

②市内公園と市道における外  
来種雑草の除去手段は。

小平市内の外来種雑草等の  
繁殖状況について伺う



文化芸術振興を進めるために



文化芸術振興を進めるために

質問 ①市の行う文化芸術振興  
における各施策が成功したとす

市長 ①文化スポーツ推進計画  
において、計画期間終了の令和

事業実施状況の点検、評価を行



訪問介護報酬引下げ撤廃を  
地域防災計画について



訪問介護報酬の引下げ  
撤廃を求め

質問 訪問介護事業所では、慢  
性的な人手不足について大きく

市長 介護人材の確保及び定着  
を図るため、訪問介護職員とし

自主防災組織について問う



人生100年時代の介護予防  
増えるビジネスケア対策



人生100年時代の介護予防  
介護予防について

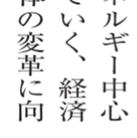
質問 ①筋力アップ介護予防運  
動講座の効果の検証は。

市長 ①効果の検証は難しい。  
講座終了後も運動習慣を継続で

今後 増える  
ビジネスケア対策について



用語の解説



用語の解説

※1 デフリンピックとは  
デフ(Deaf)は、英語で耳

※2 GXとは  
グリーン・トランスフォーメ

議員の寄附行為は  
禁止されています

法律で禁止されています。受け  
取った人も罰せられます。

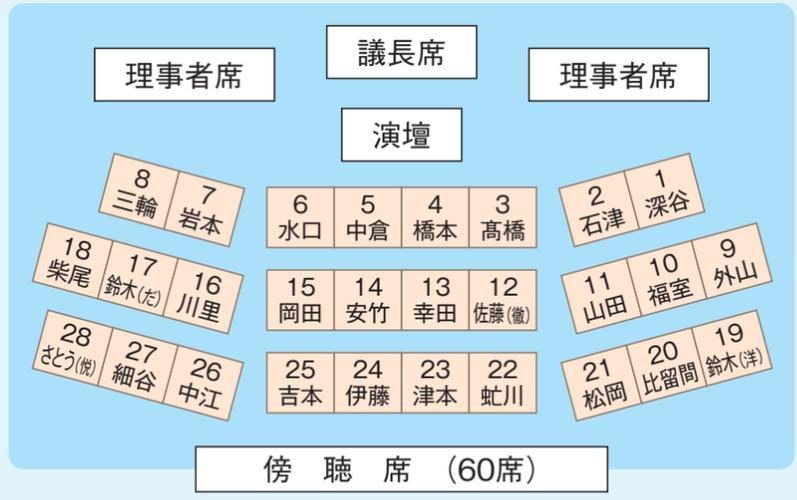
# 会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、小平市議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができますと定められています。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。

○=幹事長

- 政和会 (8人)**
  - 鈴木 洋一 石津はるか 外山まなみ 比留間洋一 深谷 幸信 福室 英俊 松岡あつし 山田 大輔
- フォーラム小平 (5人)**
  - 吉本ゆうすけ 岩本 誠 岡田しんべい 川里 富美 中江 美和
- 生活者ネットワーク (2人)**
  - さとう悦子 柴尾ひろみ
- 《無会派》**
  - まちづくり市民こだいら (1人) 水口かずえ
- 市議会公明党 (6人)**
  - 虻川 浩 佐藤 徹 高橋 政美 津本 裕子 橋本 孝二 幸田 昌之
- 日本共産党小平市議団 (3人)**
  - 細谷 正 鈴木だいいち 三輪 博美
- 一人会派の会 (2人)**
  - 伊藤 央 安竹 洋平
- 《無会派》**
  - 市議会れいわ新選組 (1人) 中倉 茂和

# 議場議席図



## 請願・陳情

6月定例会では、請願4件を新たに受理し、採択しました。陳情は3件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。なお、意見書の提出を求める請願は意見書欄に要旨を掲載しています。

**いじめ重大事態の調査報告書について**  
原案の文章を第三者が作成し提言の実施状況を報告すること等を求めることについて

1 いじめ重大事態の調査報告書は、小平市教育委員会いじめ問題対策委員会などの第三者委員会や委託した弁護士などの第三者が原案から文章を作成するために、実施時期、予算、作成方法等の検討を早急に開始してください。

2 いじめ重大事態調査報告書でなされた提言を実施するため

の計画を立て、その実施状況を半年に1回の頻度で市教育委員会定例会へ報告してください。

3 原則として、いじめ被害者やその保護者からの意向に応じたいじめ重大事態の調査報告書を公表してください。

請願者 小平市花小金井1丁目 柏本 浩二

### 児童クラブの開設時間延長を求めるとについて

小平第一小学校、小平第三小学校、小平第九小学校、小平第十四小学校の児童クラブの開設時間の延長について、速やかに

実施してください。

請願者 小平市たかの台 片岡 浩一 外89人

### 有害性が指摘されている一部有機フッ素化合物(PFAS)による地下水汚染の原因究明を求めるとについて

市は、PFOS等の流出源の特定に向け、PFOS等を保管及び使用していた在日米軍基地及び民間事業者などの施設や工場を調査するよう、また必要な場合は立入り調査をするよう、

都内の25市と連携して国や東京都に働きかけてください。

請願者 小平市大沼町7丁目 PFAS汚染問題を考える会 深澤 洋子 外92人

## 意見書

6月定例会では2件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の

公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

**パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦と人道支援のためのさらなる外交努力を国に求める意見書**

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において尊厳人命が深刻な危機的状況にさらされ、市街地に甚大な被害をもたらしています。

国際人道法は、人道的な取扱いを定めており、子どもを含む民間人を無差別に殺傷することは、明白な国際法違反です。

昨年12月12日の国連総会では、人道目的の即時停戦と人道支援の確保などを求める決議案が日本も含む153か国の賛成で採択されましたが、この決議には、紛争当事国などは反対していたため、履行に至っていません。

日本政府はこれまでも様々な努力してきましたが、今なお厳しい状況が続いています。

よって本市議会は、全ての当事者及び国際社会が、人道目的の即時停戦、国際人道法を含む国際法の遵守、人道支援物資の供給による人道上の危機的状況の改善を実現するよう、国会及び関係行政庁にさらなる外交的努力を尽くすことを求めます。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣宛て

**有害性が認められている一部有機フッ素化合物(PFAS)汚染から小平市民の健康を守るために、早急な対策を求める意見書**

有機フッ素化合物(PFAS)の一部、PFOS及びPFOA(以下「PFOS等」という。)等の有害性について、全米アカデミーズが発がん性リスクや、胎児や子どもの発育不全等との関連を指摘しています。

小平市を含む多摩地域では、令和4年から5年にかけて、市民団体によって、当該市区の住民のPFOS等の血中検査が実施されました。検査結果では、PFOS等の血中濃度が令和3年の環境省の全国調査と比べ2〜3倍高いことがわかりました。

現状、どの程度の血中濃度でPFOS等が存在する場合に健康にどのような影響が出るかについてはいまだ確定的な知見はありませんが、健康への影響については、現在も国際的に様々な知見に基づく検討が進められています。

国及び東京都に対し、PFOS等の健康へのリスクについて調査を行い、血中濃度の基準値の決定等を行うことを求めます。

## 市民と議会の意見交換会を開催しました

市議会では、「地域と大学等の連携について」をテーマに、令和6年度初めての意見交換会を開催しました。令和6年3月定例会に関する報告を行ったのち、グループに分かれ、設定したテーマ及び市政全般について市民の皆様と意見交換を行いました。

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。開催の概要は以下のとおりです。

- 日時** 5月18日(土) 午後2時から午後4時まで
- 会場** 白梅学園大学 1(アイ)棟 1階 13講義室
- 参加者** 36人



意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページのほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今後も市民の皆様との意見交換の機会を定期的に設けてまいります。多くの方のご参加をお待ちしております。



## あしがき

6月定例会では様々な議案について活発な議論が交わされました。今後も、より分かりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目 1333番地

TEL 042 (346) 9566  
FAX 042 (346) 9567

## 議場見学

《小学3年生》

- 4月30日 二小101人
- 5月28日 花小金井小127人
- 5月30日 六小70人
- 6月11日 五小141人
- 6月13日 七小113人
- 6月18日 十一小109人
- 6月19日 十五小89人
- 6月21日 学園東小65人
- 6月24日 三小118人
- 6月25日 十小114人
- 6月27日 九小75人